



『みんなで考える。』

10月2日に中央地区「和」サポート会議で取組まれている「認知症みんなで考える講座」を中央小学校4年生の総合学習で実施されました。

この講座は、「認知症でも安心して暮らせるまち中央地区」を目指して認知症について正しく理解する為の学びの機会として実施されており受講者にはオリジナルのバッジと認知症サポートのシンボルカラーであるオレンジ色の花の苗や種を配布されています。

児童の皆さんには、講座を聞いた後、自分でオレンジの花のイラストを描きオリジナルバッジづくりにチャレンジしました。

中央地区では、各自治会などでも同様の講座の実施やオレンジ色の花を花壇やプランターに植え取組の周知をされています。

少しずつですが、みんなで考えることで認知症に対する正しい理解が拡がり安心して暮らせる中央地区になると良いですね。

写真(上)中央地区「和」サポート会議のメンバー
(下)オリジナルバッジのイラストを描く児童



『もったいないをありがとうへ。』

10月3日に氷上中学校の生徒5名が SDGs についての学習の中で社協が実施しているしゃきょうたすけあいフードドライブについて知りたいと取材に来てくれました！

皆さんのが今学んでいることについて教えてもらった後、生徒から「食べ残しをゼロにするにはどうしたらよいか?」などの質問があり、大きな目標の中で丹波市社協が行っている事業がどのような役割を担っているかをお話しました。

今後、取材で聞いたことを参考に自分たちにはどのような取組ができるのか考えることです。どのような取組につながるのか楽しみですね♪

丹波市社協では、本所・各支所・分室にて常時食料品や日用品を受け付け、必要とされている方にお渡ししています。

皆さまのご協力よろしくお願ひいたします。





あかはねちゃんが来たよ。

10月5日、ゆめタウンで赤い羽根共同募金の街頭募金活動を実施しました。

当日は、兵庫県共同募金会のマスコットキャラクター「あかはねちゃん」も来てくれて、子どもたちに大人気！

また、氷上西高校の生徒もボランティアとして参加され、「共同募金にご協力お願ひします！」「ありがとうございます」と大きな声で呼びかけました。

お客様からは「ご苦労さまです。がんばってね。」と優しい言葉をかけていただきました。

年末までの期間中、さまざまな所で募金活動をさせていただきます。

みなさまのご協力をよろしくお願ひいたします。



みんなの ホビー スペース



氷上町の K さんから投稿のあった作品を掲載します。水彩画なんだって。細かい所まで、塗っていてきれいだね！

みんなも投稿してね→ hikami@tambawel.jp

